

指定管理者の期末モニタリング

施設名	学童保育所 かえで児童クラブ	年度	平成30年度
指定管理者	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ	担当課	福祉課
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	期別	第3期
施設の目的	両親等の就労等により保育が必要な児童に対し、保護者に代わり保育することにより、児童の健全な育成を図ることを目的とする。		
業務の内容	(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 (2) 入所の承認及び承認の取消しに関すること。 (3) 保育料の徴収に関すること。 (4) 施設及び設備の維持管理に関すること。		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良 0 B適正 13 C改善 0
各学童常勤2名配置により、入所児童に対する安定した保育が確保及び、指導員と保護者との継続的なコミュニケーションによる安心・安全な学童保育サービスの提供がなされている。	
【評価事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定された指導員配置により入所児童に対する安定した保育を実施している。 ・ 自主的な研修会の実施や外部の研修等への参加により、質の高い保育の確保を図っている。 ・ 地域との交流を積極的に実施し、地域に根差した学童となっている。
【改善事項】	利用児童数に合わせた職員配置による適正な管理運営と入所児童及び保護者に対する保育サービスの更なる向上を期待する。
1. 施設の管理運営・事業	評価 B 適正
2学童運営体制で保育を行い、開所予定日すべて滞りなく学童保育を運営することができている。今年度も年間を通して各クラブ毎に児童を固定して保育を行い、同じ集団で保育を行うことで縦割り班活動で育ち合う仲間づくりを行い、固定した指導員で子どもたちの心理的なフォローを行うなどきめ細やかな指導を行っている。児童が過ごす時間は、健康に配慮し、安心、安全に過ごせるように心がけている。	
2. 利用者の公平確保	評価 B 適正
入所申請については、宮代町の学童保育入所時の申請基準に準じ、申請者全員について、就労証明書等を添付した申込書に基づき、外部有識者を交えた入所審査を行い、入所を決定している。また、継続入所児童についても就労証明書等の確認を行っている。保育料免除の手続きについては、父母会にて告知し、申請漏れのないよう指導されている。	
3. 職員の配置、研修等	評価 B 適正
今年度は、埼玉県定める『埼玉県放課後児童クラブ運営基準』に則り、学校長期休業期間中も含め、各学童に常勤職員を2名配置し、運営している。また、パート指導員は、4名体制で保育にあたっている。職員研修に関しては、今年度も、職員で障害児の受け入れに関して研修会を企画し、講師からのアドバイスを受け、具体的な対応について学び、また、埼玉県学童保育連絡協議会主催の研修会に参加するなど、積極的に研修に励んでいる。職員の健康診断については、常勤指導員と1年以上継続しているパート指導員に対して人間ドック受診の補助を行っている。	
4. 施設の維持管理業務（清掃、植栽管理など）及び保守点検	評価 B 適正
学童の清掃等については、指導員によって毎日取り組まれている。外側溝やエアコン清掃などについては、宮代町シルバー人材センターに委託して清掃を行っている。また、毎日、業務前に指導員による施設点検を行っている。	

5. 施設の修繕	評価	B 適正
さくら教室（第1児童クラブ）男子トイレのドア枠の老朽化から金属製のドアが外れ、倒れたり、手を挟んでしまう等の危険があるため、町へ相談、町による修繕済み。		
6. 備品管理	評価	B 適正
宮代町かえで児童クラブで購入する備品については、備品台帳により管理している。今年度は、3月にカーペットを購入している。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
平成30年4月に小学校管理職と災害時の緊急対応について、昨年度に合意した内容について今年度も合意し、内容について職員間で確認、周知徹底している。避難訓練は、今年度も宮代町消防署に依頼し、児童も含めた訓練を実施している。管理責任者、防火責任者は、常勤指導員2名で分担して務めている。また、父母会では、学校との連携を含む避難方法や情報の伝達方法について確認している。		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
個人情報については鍵のかかるロッカーに保存し、特定の者のみの閲覧としている。個人情報等を破棄する際には、情報漏洩がないようにシュレッダー処理している。また、広報等の写真の掲載可否については父母会で確認をとっている。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
毎月、父母会を開催し、保育内容の報告を行うとともに、学童保育への要望を聞く機会を設け、確認している。また、学年別懇談会も開催している。クラブだよりを作成し、父母に配布するとともに、小中学校など関係する地域の機関にも配布して運営への理解を求めている。学童祭りは、保護者の協力のもと実施している。また、地域の保育園、老人福祉施設への訪問をクラブで行い、交流している。利用者への対応については、日頃より保護者とコミュニケーションをとるようにし、子どもの様子などを保護者と共有するように努めた。今年度も利用者からのクレームはなく運営できている。		
10. 自主事業の実施	評価	
該当事業なし		
11. 経費節減	評価	B 適正
今年度も児童に節電、節水を呼びかけ、指導員とともに資源を大切にすることに取り組んでいる。定期的な清掃は、指導員で行い清掃費の削減に努めている。修繕や備品購入の際には必ず事前に見積もりを取り、父母会で適切かどうかについて協議している。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
今年度も、夏のエアコンの設定温度を28度にする等、節電に心がけている。ベランダによしずをかけて日陰をつくるなど、温度上昇を抑えるよう取り組んでいる。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
月に数回、クラブだよりを発行し、小中学校など関係する地域の機関にも配布をしている。学童祭りの実施については、広報「みやしろ」に掲載したり、子ども達の手作りポスターを掲示したりすることで、町民に情報提供を行っている。入所希望者募集については須賀小学校の就学時健診や入学説明会時に募集内容を説明し、関係書類を配布している。また、問い合わせにも随時対応している。		
14. 会計管理	評価	B 適正
補助金・保育料収入は、当法人会計（事業費・管理費を区分）と、おやつ行事等会計とに分け、適正に管理している。年数回、NPO理事、父母会役員、常勤指導員、事務職員、父母会会計での予算の執行状況について確認し、当初予算との比較からその後の経費支出についての方向性を確認して進めている。人件費については、今年度も放課後児童支援員等処遇改善等事業を受け、常勤指導員4名を確保し、年間を通した予算執行は適正に行っている。		